

2026 年度 BEST ワークショップ（建築編）

本ワークショップは、建築環境シミュレーションツール「BEST」の特長と、実務での具体的な活用法が学べるプログラムです。

第一線で活躍するエキスパートの知見紹介をはじめ、熱負荷計算や省エネ手法の設定など、BEST 建築計算のコアな機能を解説します。また、TRYBEST を用いた演習、住宅版の実演、Radiance 連携による外部日除け評価など、実践的な体験内容を多数用意しています。さらに、表計算ソフトを活用した入力支援ツール BEST-Psmart を活用した効率的なパラメータスタディの手法まで、実務の効率化に直結する最新技術を網羅しました。

後半のディスカッションでは日頃の疑問にもお応えしますので、初心者から実務者まで皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※あらかじめプログラムをインストールしたパソコンにて、実際の操作を見ながら、具体的な使い方を学んでいただくことができます（**利用期限付きプログラムを配布します。**）

対 象	・BEST フルユーザー ・BEST-H(住宅環境 設計ツール)ユーザー ・BEST-H(住宅環境・健康評価ツール)ユーザー ・BEST 省エネ基準対応 ツールユーザー ・BEST アカデミックユーザー
開催日	2026 年 10 月 23 日（金） 13：30～17：00
会 場	株式会社日建設計 3F PYNT 会議室 住所：東京都千代田区飯田橋 2 丁目 18 番 3 号
方 式	・対面式および Zoom（ウェビナー形式）を使用したオンライン講習会 注 1）安定したインターネット環境下でご参加下さい。また Zoom 最新版へのアップデートを推奨します。 注 2）使用している Web ブラウザが IE（Internet Explorer）では正しく機能しないことがあります。Chrome 等の他のブラウザをご使用下さい。
参加費	無料
定 員	40 名
申込方法	▶ お申込みはこちら ※申込み受付は【10 月 2 日（金）】より開始
受付期間	2026 年 10 月 2 日（木）～10 月 16 日（金）
その他	講習会当日は BEST プログラムの実習をするためのノートパソコン（AC アダプター共）をご持参ください。（利用期限付きプログラムを配布します。）会場に受講者用のパソコン電源の準備はございますが、インターネットは使用できません。事前に資料・データ・プログラムをダウンロードいただきプログラムの動作確認をしてから会場にお越し下さい。

【BEST の作動環境について】

各種 BEST は、下記の環境において、各種マニュアルに記載の例題データが作動することを確認しています。（下記以外の作動環境については、確認を行っていません）

OS	Microsoft® Windows® 11 日本語版(64 ビット版)
----	--------------------------------------

また、推奨作動環境は以下の通りです。

OS	Microsoft® Windows® 11 日本語版(64 ビット版)	
CPU	Intel (R) Core i5 相当 以上	
メモリ	4GB 以上	
空き容量	2GB 以上	
解像度※	1600×900 以上	
その他の必要環境	Java3D1.5.1 以上 (一部機能で必要)	OpenGL 対応ビデオカード EXCEL2003 以上(一部機能で必要)
※高 DPI 設定には対応していません。画面レイアウトが崩れる場合は拡大率を 100%に設定してご使用ください。		

◇本申込みにより一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センターが取得する個人情報の利用目的は以下の通りです。

- ・本講習会に係る案内に関する連絡
- ・その他財団が開催する講習会・セミナーの案内

なお、個人情報保護法に定める事項については、当財団のホームページ(<https://www.ibecs.or.jp>)をご覧ください。当財団までお問い合わせ下さい。（電話：03-3222-6681）

■プログラム■ (プログラムは、予告なく変更となる可能性があります)

司会：長谷川 巖（株式会社日建設計）

13:30～13:40 はじめに

講師：石野 久彌 氏（東京都立大学名誉教授）

13:40～14:00 インタビュー

インタビュアー：石野 久彌 氏（前出）

シミュレーションのエキスパートに対して、どのように利用されているか、どういう点に注意されているかをインタビューするものです。シミュレーションの実情を把握する一助になります。

14:00～14:30 BEST 建築計算の特徴と活用

講師：郡 公子 氏（宇都宮大学名誉教授）

BEST 建築計算の特徴と計算時間間隔の設定法、省エネ手法の計算機能と熱負荷計算による活用例、ケーススタディに利用可能な技術等を説明します。

.....（休憩 10 分）.....

BEST 建築計算を中心とする体験法

14:40～15:20 1) TRYBEST による BEST-P 体験

講師：下ノ園 慧 氏（国立保健医療科学院）

BEST のいろいろな機能を体験できる例題集の TRYBEST を用いて、基本的なケースや自然換気などの省エネ手法に関する演習を行います。

15:20～15:35 2) 15 分で BEST 住宅版 — 新規物件の作成から結果確認まで —

講師：佐藤 誠 氏（佐藤エネルギーリサーチ）

BEST 住宅版住宅環境設計ツールで 3 室平屋を新規作成し、入力から計算実行、結果確認までを実演します。あわせてサンプル物件を用いた検討方法と、同・健康評価ツールを紹介します。

15:35～15:50 3) BEST 連携のための Radiance 光計算法

講師：吉澤 望 氏（東京理科大学）

外部日除けの日射遮蔽効果や昼光利用・調光制御の効果等を、BEST と連携して評価するための Radiance 計算法や外部日除け評価のための R a d i a n c e 計算ツールを紹介します。

15:50～16:05 4) Radiance・BEST 連携による外部日除け評価

講師：大木 泰祐 氏（大成建設株式会社）

Radiance 計算ツールを利用して外部日除けの日射遮蔽性能データを求め、これを BEST に入力して熱負荷計算を行う手順を説明し、ケーススタディを紹介します。

16:05～16:20 5) BEST-Psmart とパラメータスタディ

講師：芝原 崇慶（株式会社竹中工務店）

実設計やパラメータスタディを行うことを容易にするために作成された、表計算ソフトを活用した入力支援ツール BEST-Psmart を、実演を交えて説明し活用事例を紹介します。

.....（休憩 5 分）.....

16:25～16:55 ディスカッション

コーディネータ：長谷川 巖（前出）

BEST の使い方や結果についてのご疑問にお応えするとともに、シミュレーションツールのあり方などについて幅広く意見交換します。

16:55～17:00 まとめとアンケート